

蔵屋美香が語る

(横浜トリエンナーレ総合ディレクター)



特別レクチャー

親子できたえる「考える力」

現代アートを通して、横浜トリエンナーレでできること

5/19 (日) 13:30-15:00

対象

10代のお子さまをお持ちの親御様(お子さまとの参加をおすすめします)
お子さまは、小学校高学年、中学生・高校生・大学生が対象です
お子さまお一人での参加も可能です

開催概要 事前申込制

日時: 2024年5月19日(日) 13:30-15:00
会場: 横浜美術館 レクチャーホール
定員: 200名 *定員になり次第締め切らせていただきます
参加費: 無料 *展覧会有料エリア鑑賞には別途鑑賞券が必要です(18歳以下は無料)
お申し込み: QRコードからWEBサイトにアクセスしてください。
<https://www.yokohamatriennale.jp/2024/events/10659>
主催: 横浜トリエンナーレ組織委員会



これからの社会を生きる子どもたちには、「自分で考える力」が求められます。
そこでおすすめなのが、「現代アート」の作品を前に、親子で対話をすることです。

たとえば第8回横浜トリエンナーレには、世界から集まったアーティストたちの作品が展示されています。ひとつの作品の中には、その地域の歴史や文化、地理など、さまざまな要素が詰まっています。また、多くの作品が、気候変動や経済格差といった世界的な課題を扱っています。つまり、学校教育にたとえるなら、ひとつの作品の中には複数の教科をまたぐテーマが潜んでいるのです。

「この地域はどこにあるのかな」「そこで何が起こったのかな」「原因は何だろう」「解決の方法はあるかな」。親からのシンプルな問いかけが、作品を観察し、別の知識に結び付け、新しい視点を見出す子どもの発想力を育みます。

このレクチャーでは、おもにティーンエイジャーの親御さんに向けて、横浜トリエンナーレを題材に、親子の対話から「考える力」を育むヒントをお伝えします。お子さんと一緒のご参加も歓迎です!

横浜トリエンナーレ組織委員会 総合ディレクター
横浜美術館 館長
蔵屋美香

千葉県生まれ。千葉大学大学院修了(教育学修士)。東京国立近代美術館勤務を経て、2020年より横浜美術館館長/横浜トリエンナーレ組織委員会総合ディレクター。第55回ベネチア・ビエンナーレ国際美術展日本館(アーティスト:田中功起)キュレーターを務め、特別表彰。多摩美術大学客員教授。慶應義塾大学、東京藝術大学をはじめゲスト講師多数。



第8回 横浜トリエンナーレ
野草: いま、ここで生きてる



第8回 横浜トリエンナーレ

野草: いま、ここで生きてる

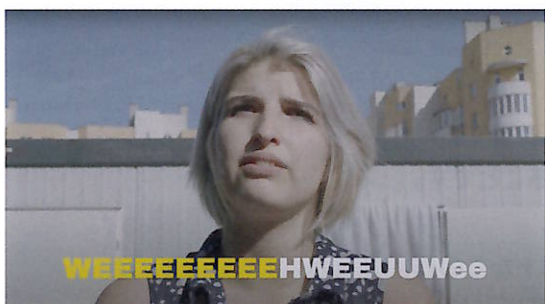
横浜トリエンナーレは、3年に一度開催される国際的な現代アートの祭典です。海外のアーティスト・ディレクターが展覧会を企画し、横浜に世界の作品が世界の作品が一堂に集まります。

第8回横浜トリエンナーレは、いまを生きるひとりひとりの姿に目を向けます。災害や戦争、環境破壊、経済格差、不寛容—私たちの世界は今日多くの問題を抱えています。この息苦しさの中を生き抜くヒントを、作品の中に見出します。

展覧会のタイトルは、中国の国民作家、魯迅(ろじん、1881-1936)の『野草』に由来します。彼がもっとも苦しい時期に書いた詩集『野草』(1927年刊)を手がかりに、展覧会の旅を始めます。

【代表的なアーティストと作品】

オープングループ 《繰り返してください》2022



ウクライナ

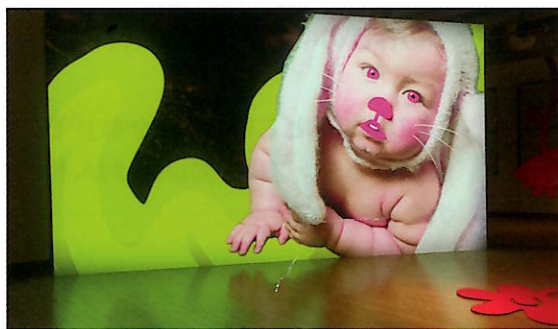
オープン・グループは、2012年に結成されたウクライナのアーティストグループです。コミュニティへの関与や協働、対話や討論をもとに作品を制作しています。

この映像作品は、ロシアによるウクライナ侵略に伴ってリヴィウの難民キャンプに逃れた人々に取材したものです。国民に配布された戦時下の行動マニュアルに想を得ています。そこには、音によって兵器の種類を聞き分けた上で、いかに行動するべきか、という手引きが示されています。武器の音を口で再現する人々の姿は、生きるために新たな知識が必要となったウクライナの今ある現実を生々しく伝えています。

ブック・フェルカード 《根こそぎ》2023-24

環境破壊

気候変動や環境破壊は、人間の未来や生存に関わる深刻な問題です。人間が生き延びるためのヒントは、自然を改変することではなく、むしろ自然を見習うことにあるのではないのでしょうか。作家はこの映像作品で、多くの種類が同じ土に共存し、柔軟に形を変え、依存しあって生きる植物の性質に注目しました。そんな植物のように、わたしたちも、常に変わりゆくものとしての世界を受け入れ、凝り固まった考えや旧態依然とした社会のしきみを打ち破ることができれば—その時、この映像の主人公もはじめて安住の地を見つけるかもしれません。



チケット情報 **18歳以下または高校生以下は入場無料!**

鑑賞券料金

一般	横浜市民	学生(19歳以上)
2,300円	2,100円	1,200円

特設WEBサイト



- ・鑑賞券で横浜美術館/旧第一銀行横浜支店/BankART KAIKOの3会場に入場可能(別日程も可)。
- ・他にも各種チケットがあります

開催概要 | 第8回横浜トリエンナーレ「野草: いま、ここで生きてる」
アーティスト・ディレクター: リウ・ディン(劉鼎)、キャロル・インホワ・ホル(盧迎華)

会期: 2024年3月15日(金) - 6月9日(日) 開場日数: 78日間

休場日: 毎週木曜日(6/6を除く)

開場時間: 10:00 - 18:00 | 6月6日(木) - 9日(日)は20:00まで会場

会場: 横浜美術館、旧第一銀行横浜支店、BankART KAIKO、クイーンズスクエア横浜、元町・中華街駅連絡通路

主催: 横浜市、(公財)横浜市芸術文化振興財団、NHK、朝日新聞社、横浜トリエンナーレ組織委員会

公式WEBサイト: <https://www.yokohamatriennale.jp>





申し込みは
コチラ!!



子どもサッカー 1日体験会開催!!

初心者・女の子も楽しめるような内容です

5/25・6/1(土)

キッズクラス 15:30~16:30(年少~年長)
ジュニアクラス 17:00~18:00(小1~小4)

【会場】 スポーツフィールド戸塚

🏆 定員 | 各部 10名

5/21・28・6/4(火)

エンジョイクラス 19:00~20:00(幼児~小4)

【会場】 スポーツフィールド戸塚

🏆 定員 | 各部 10名



🏆 **参加費 無料** ※体験は、お一人様1回限りとさせていただきます。

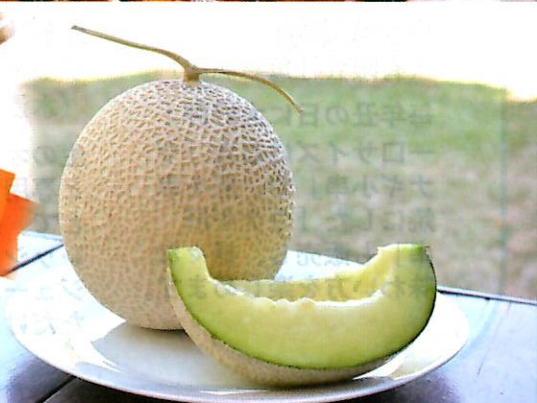
詳しくはお気軽にお問い合わせください

TEL. **03-6300-0671**

受付時間: 平日 10:00~20:00

初心者・女の子も大歓迎!!

【主催】NPO 法人アミティエ・スポーツクラブ 【後援】横浜市教育委員会



春の味覚フェス

2024

5/25(土)・5/26(日)

11:00~16:00

10:00~16:00

入場
無料

2日間だけの特別企画!

- ①横浜市場直送の新鮮な野菜・果物などを販売
 - ②横浜市場の食材を使った約20台のキッチンカーが大集合
 - ③市場にまつわるワークショップも出店
- 詳細は裏面をチェック!!

主催：横浜市場プロモーション委員会
 共催：横浜市経済局
 協力：株式会社シンクロ・フード（モビマル）、
 有限会社ビーアンドビーコミュニケーションズ、
 株式会社ジェイコム湘南・神奈川
 協賛：生活協同組合ユーコープ、
 パルシステム生活協同組合連合会



【特設サイト】

アクセス

- 横浜駅東口 駅前広場(地上) ⇄ 会場 を走行する無料シャトルバスを運行予定。時刻表、乗車場所等の詳細は、特設サイトをご確認ください。
- 駐車場のご用意はありません。



※写真はすべてイメージです。

飲食



ウナギ串焼
(有限会社魚森商店)

毎年丑の日に大好評！一口サイズにした「ウナギ小串」や、肝を串焼にした「ウナギ肝串」も販売し、様々な味わい方を楽しめます。



生絞りオレンジジュース
(水浅青果株式会社)

生のオレンジをまるごと専用マシンで絞ることで、果汁100%のフレッシュなオレンジジュースをお楽しみいただけます。

物販



市場直送！新鮮なお野菜
(食品館あおば)

卸売市場直送ならではの品質、価格でご提供します。



飲む野菜ファースト
(株式会社つま正)

野菜を長時間煮出して作っただしスープ。無駄なく使いフードロス削減へ。



ベーコンチーズ串
(株式会社石橋)

角切りのチーズをふんだんに、すり身に混ぜ込み、ベーコンで巻いた一品です。

ワークショップ

カツオがテーブルにとどくまで
(水産研究・教育機構)

「カツオがみなさんのテーブルに届くまで」を展示するほか、カツオ一本釣りの竿も展示します。カツオ一本釣漁師を体験してみよう！



中央卸売市場で働く車「フォークリフト」
(トヨタエaland エ7神奈川株式会社)

市場の中で働いているフォークリフトに乗って写真撮影できます。



展示

新型クラウンセダンFCEV車を使用した給電デモ
(神奈川トヨタ株式会社)

水素を燃料とするFCEV車新型クラウンセダンを展示。水素を電気に変換することで、出店者のキッチンカーなどに給電デモンストレーションを行います。



事前申込型コンテンツ

5/25 **土**

市場見学ツアー



【時間】
[1部]10:00~10:40
[2部]11:00~11:40
※1部と2部は同内容

【定員】
各部30名
(申込多数の場合は抽選)

【費用】

無料

【申込期間】

4月26日(金)~5月19日(日)

【申込方法】

特設サイトからグループ単位で申込

5/26 **日**

キューピー講演会
「野菜を楽しみ、
もっと健康に！」

【時間】
13:00~14:30

【定員】
50名
(申込多数の場合は抽選)

濃厚接触
ステイホーム
無観客 情報
緊急事態宣言
ソーシャルディスタンス

インフォデミック

GoTo
キャンペーン

ウィズコロナ
ワクチン

デマ

在宅勤務

デルタ株 差別

東京2020

インターネット

SNS

オミクロン株

不要不急

歴史は繰り返す

3密

メディア

ケア労働

まん延防止等重点措置

未知 医療従事者

5類

トイレットペーパー

陰謀論

フェイク

声出し応援

自粛警察

エコーチェンバー

観光の再生

フィルターバブル

アルファ株

感染症法

ロックダウン

新型コロナと 情報とわたしたち II

——コロナがわたしたちに残したもの

ニュースパーク
日本新聞博物館

2024
4/20 日 ▶ 9/1 日

会場 ニュースパーク(日本新聞博物館) 2階企画展示室

主催: ニュースパーク(日本新聞博物館)

協力: 東京写真記者協会

後援: 神奈川教育委員会、横浜市教育委員会、
川崎市教育委員会

■開館時間 午前10時から午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休館日 月曜日(祝日・振替休日の場合は次の平日)

■入館料 一般 400円 大学生 300円

高校生 200円 中学生以下無料

—コロナがわたしたちに残したもの

「情報と新聞の博物館」の緊急企画展から約4年 情報をめぐる混乱と

当館は、新型コロナウイルス感染拡大による最初の緊急事態宣言が明けたばかりの2020年7月、緊急企画展「新型コロナと情報とわたしたち」を開催しました。SNS時代に起きた世界的な感染症の流行は、真偽ないまぜの情報が瞬時に大量に拡散される「インフォデミック」という現象をもたらし、不安や恐怖で流言・デマが行き交い、医療従事者や感染者らへの中傷・差別などもありました。準備期間の大半が職員一同、在宅勤務による作業という経験は初めてでしたが、「情報と新聞の博物館」として当館は、日頃情報リテラシーの大切さとメディアの役割を伝えており、コロナ禍で起きたこれらの出来事を記録し、どう対処すればよいのか共に考えたいとの思いがありました。

2290人からもっと広げたい 分断、より深刻に

緊急企画展は、同9月に閉幕しました。まだ外出する人も少なく、期間中の入館者は2290人でした。その後も、ワクチンをめぐる流言、東京オリンピック・パラリンピックの開催をめぐる意見の相違など、社会の分断が進むような出来事が次々に起こりました。



2020年の緊急企画展では、まだ不安のさなかであること、その中で新聞が伝え続けたことを表現した。その時の象徴的だった出来事として「トイレットペーパーデマ騒動」を図解した

「5類」移行から1年。ふたたび共に考え、未来につなげたい

現代のわたしたちは、インターネットやスマートフォン、SNSによる利便性を享受しており、それらが無い時代に戻りすることは困難でしょう。このような状況で、わたしたちは、情報に振り回されないためにどうすればいいのか。常設展示もコロナ禍以降、このことを意識して改修しました。コロナが感染症法上の5類に移行して1年たった今、コロナ禍がわたしたちに何を残したのか、SNS時代のマスメディアの役割や課題は何か。短い期間に同じテーマの展示を繰り返すのは、当館としては異例ですが、あらためて本展を通じて一緒に考えたいと思います。「確かな情報」がなぜ必要なのか—。

緊急事態宣言、五輪1都3県無観客、連日の感染確認、5類移行など、コロナ禍の状況や動きを伝えた各紙



読売新聞 2020年1月1日 朝刊
中国で確認された原因不明の肺炎は2020年1月1日付の読売や、共同通信の配信を載せたいくつかの地方紙に小さく載ったのみだった

中国で原因不明肺炎
【北京＝比嘉清太】中国国営中央テレビ（電子版）などによると、湖北省武漢市が30日市内の医療機関で原因不明の肺炎患者が相次いで確認されたと発表した。当局は27件の発症が確認され、このうち7件が「重症（病状）」としている。中国政府は専門家チームを現地に派遣し、状況の把握に乗り出した。当局は「新型コロナウイルス」とは断定の意図がないとしている。

2020～2024→未来へつなぐ コロナ・インフォデミック

<h3>I SNS時代の感染症</h3> <p>デマ騒動/分断/対立/専門家の提言・見解をどう届けるか、どう読むか</p>	<h3>II 歴史に学ぶ感染症と情報</h3> <p>コレラ/天然痘/ペスト/スペイン風邪/戦後の混乱と感染症/世界を揺るがす感染症/新聞小説の中の感染症</p>	<h3>III 新型コロナウイルス新聞はどう伝えたか</h3> <p>「中国で原因不明の肺炎」と伝えた2020年1月1日付の初報から、23年5月8日の5類移行までの状況や動きを新聞と報道写真で振り返ります</p>	<h3>IV インフォデミックの経験、未来へつなぐ</h3> <p>コロナ禍で「インフォデミック」を経験したわたしたちは、今後どのように情報と付き合えばいいのかが、考えます</p>
---	---	--	--



N ニュースパーク
日本新聞博物館



みなとみらい線「日本大通り駅」3番出口(情文センター口)直結
JR根岸線・横浜市営地下鉄「関内駅」徒歩10分
横浜市営バス「日本大通り駅南口」徒歩1分
車で首都高速「横浜公園出口」から約3分

https://newspark.jp
〒231-8311 神奈川県横浜市中区日本大通11 横浜情報文化センター TEL:045-661-2040 FAX:045-661-2029

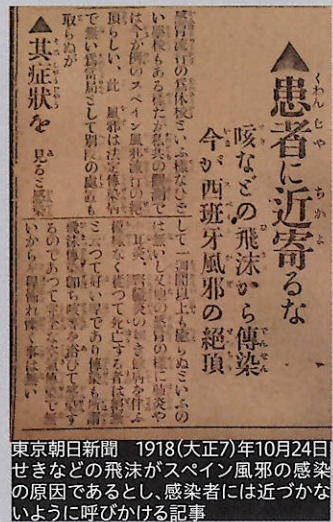
トイレットペーパーデマ騒動はなぜ起きたか

2020/2/27 AM10:00 **最初のデマ投稿**
「新型コロナの影響で中国から輸入できず、品切れになる」とのデマtwitter投稿。ほとんど拡散しなかった。

2020/2/27 PM2:00 **善意の否定投稿増加**
デマを否定する善意の投稿が増加。「大半が国産だよ」「落ちついて」「紙製品の品質を知らせる注意喚起も増加」「入荷しますと言っても聞いてくれない」「うちの近くはまだあった」

2020/2/27 夕方以降 **ニュースで取り上げられる**
ニュースサイトやテレビ番組がトイレットペーパー騒動を取り上げる。→デマ否定の投稿・ツイートは28日までの2日間累計32万件。

2020/2/27 →2/28 **トイレットペーパー販売急増**
トイレットペーパーの売り上げが27～28日にかけて急増。買いためた人の9割以上が「供給に問題がない」と知っていた。しかし「デマの流布」「品薄な状況」を見て、トイレットペーパーを購入。日本経済新聞4月6日付朝刊(電子版)5日付記事裏面に当館が作成



東京朝日新聞 1978(大正7)年10月24日
せきなどの飛沫がスペイン風邪の感染の原因であるとし、感染者には近づかないように呼びかける記事

令和6年度

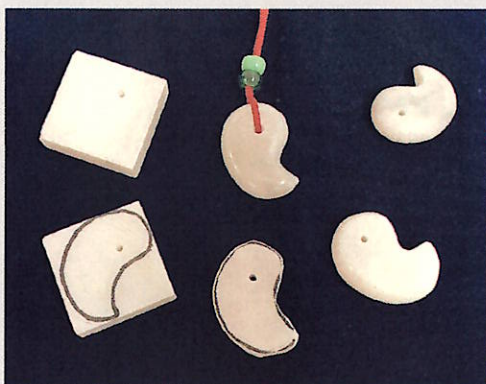
見て触れて楽しく学ぶ

考古学ワークショップ

考古学
ワークショップとは

神奈川県埋蔵文化財センターが行っている普及啓発事業で、
遺跡からの出土品を活用した体験学習や授業を行っています。
学校の授業や課外活動、地域サークルなどご利用いただけます。

土偶づくり



まが玉づくり



拓本づくり

問合せ先

神奈川県埋蔵文化財センター ☎ 045-252-8661

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ar3/cnt/f6656/index.html>

考古学ワークショップ

対象・人数・場所・その他

対象：小・中・高校（4年生以上の児童・生徒・教員）や、地域サークルなどの団体

人数：一度に最大40人程度まで

場所：神奈川県埋蔵文化財センターのほか、学校や公民館、地区センターなど

その他：「土偶づくり」「まが玉づくり」では、専用の粘土や石を事前にご準備いただきます。
その他の道具類等はすべて埋蔵文化財センターで準備します。

実施内容

組み合わせて実施することなどもできますので、お気軽にご相談ください。

講義

「考古学とは」「身近な遺跡について」「出土品の解説」などのお話を講義形式で行います。

※目安時間：45分～



体験

「土偶づくり」、「まが玉づくり」、「拓本づくり」のほか、出土品を見たり触れたりすることもできます。

※目安時間 土偶づくり：半日～1日、まが玉づくり：半日
拓本づくり：45分～、出土品に触れる：45分～



施設見学

神奈川県埋蔵文化財センター内を見学します。
企画展示 かながわの遺跡展（12月～3月頃に開催予定）での展示解説も行っています。

※目安時間 館内案内：45分～、遺跡展解説：45分～



実施の流れ

①お電話ください

まず、お電話で希望日時・実施場所・実施内容などをご相談ください。

②打合せ

打合せをします。
実施内容や時間などの詳細を決めます。

③実施

ワークショップを実施します。

※埋蔵文化財センター以外で実施する場合は、打合せ時の現地確認や、道具類の実施前搬入を行います。



問合せ先

神奈川県埋蔵文化財センター

☎ 045-252-8661（平日9時～17時）

〒232-0033 横浜市南区中村町3-191-1

アクセス

横浜市営地下鉄「阪東橋駅」より徒歩7分

京浜急行「黄金町駅」より徒歩15分

横浜市南区役所の前を通り、赤い橋を渡ったらすぐ

詳細は

神奈川県埋蔵文化財センター



保護者向け
オンライン

朝日新聞

佐藤ママ子育てセミナー

今年こそ後悔しない! 自由研究で悩まない! 夏休みの過ごし方

夏休みは「小さな天王山」。有意義に過ごすコツや
お子さんのやる気を引き出す学習法を、佐藤ママがアドバイスします。

開催日時

2024
6/20 木
▶ 11:00 ~ 12:30

▶ 自宅からお気軽にご視聴いただけます

お申し込み

WEB上からお申し込みください。
QRコードからもアクセスできます。

<http://t.asahi.com/mama0620>



講演会内容(一部抜粋)

- 「夏休みのスケジュール」のたて方
- やる気を引き出す「声かけ」
- 苦手科目を克服しよう
- 学力がぐんぐん伸びる「ノート活用法」
- 「自由研究」で悩まない!

※2024年2月15日開催オンライン講演会のアンケート回答結果から。回答数348

参加無料

抽選で

900名様

(各地区)

こんなお悩みのある方にオススメ

- ✓ 毎年、夏休みの宿題が終わらない
- ✓ ゲームやスマホに熱中している
- ✓ 子どものやる気が出ない

参加者の声

- ✓ 「声かけ」のコツがつかめた
- ✓ 楽しそうに勉強するようになった!

非
視聴者
満足度
93%!



東大理Ⅲ(医学部)に
子ども4人を合格
させた佐藤ママ

佐藤亮子さんプロフィール

奈良県在住。津田塾大学を卒業後、私立高校で2年間の英語教師を経験。3男1女全員が東京大学理科3類に合格。子育て方法が話題となり、「決定版・受験は母親が9割!」(朝日新聞出版)などを出版。

詳しくは「佐藤ママ紹介動画」を
ご覧ください!



締め切り

2024年6月6日[木]まで

お問い合わせ

佐藤ママオンライン講演会事務局 <http://t.asahi.com/qa0620>
※営業日等の関係でお時間を頂戴する場合がございます。

主催:朝日新聞社

後援:川崎市教育委員会、横浜市教育委員会、三島市教育委員会、長泉町教育委員会、清水町教育委員会、茨城県教育委員会、守谷市教育委員会、千葉県教育委員会、千葉市教育委員会、埼玉県教育委員会、栃木県教育委員会、群馬県教育委員会、仙台市教育委員会、秋田県教育委員会、新潟県教育委員会